

# 和歌山南ロータリークラブ週報



WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

2023年2月 第2週

2022～2023年度  
国際ロータリー・テーマ

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23  
N-4ビル 2F  
TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821  
http://www.wminamirc.jp/

ガバナー	森本芳宣	幹事	石橋英二
会長	中村和子	会長エレクト	小野正克
直前会長	上西豊基		
副会長	岩本 研	副委員長	橋本忠通
会報委員長	戸井洋木	副委員長	橋本忠通
委員	林 勇伺	広瀬晋作	岩橋一博
	志賀功樹		



例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1  
ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055  
例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

2022-2023年度 RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ 「 IMAGINE ROTARY 」

## 本日のプログラム

2023年2月10日(金) No.2907

- 第2964回 例会
- ソング「我等の生業」
- 第3回 I.D.M. 発表

## 次週のプログラム

2月17日(金)

- ソング「それこそロータリー」
- 和歌山東南R.C.との合同夜間例会  
ダイワロイネットホテル和歌山  
18:30～

## 会長報告

1月は行って2月は逃げて3月は去ると申しますが、その通り今日はもう2月3日節分です。そして山中静会員を偲ぶ例会になろうとは。新年3ヶ月過ぎの訃報は余りにも突然でした。つい一か月前に山中事務所の70周年記念祝賀会でいつものようににこにここと穏やかな笑顔で、しかししっかりした口調で滑らかにお話されていた、そしてクリスマス家族会でも長女の典子さんと参加されて何時もの様に完食されていた山中先生。今日は4人の会員様に先生の思い出をお話していただきます。山中先生聴いて下さいね。



## 幹事報告

- ・例会終了後、理事役員会を開催します。会場はここです。テーブルを寄せて席を作ります。
- ・「山中静会員を偲んで」のパンフの裏にあるQRコードでスライドショーを見ることができます。
- ・米山の確定申告用の領収書を忘れずにお持ち帰りください。



## ゲスト紹介



植田親睦活動委員長  
本日のゲストのご紹介

## 出席報告



雑賀出席委員長  
本日の出席報告



前週の報告 2023年2月3日(金)  
出席報告 会員71名(出席規定適用免除会員6名)  
出席48名 ホームクラブ出席者67. 61%

本日のお食事



四つのテスト (言行はこれに照らしてから) I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

## ビジター



本日のビジター 東京丸の内ロータリークラブ:渡上智之様  
にお越し頂きましたのでバナー交換をさせて頂きました。



## 親睦活動委員会メンバー



## 2月 お誕生祝

# HAPPY BIRTHDAY



2022-2023年度テーマ:「夢を実現。ロータリーとともに」絶景の宝庫和歌の浦をもう一度味わう

## ニコニコ箱



本人誕生日・・・大林君・野島君・宮本(保)君・吉村君  
奥様誕生日・・・岩橋君・岡崎君・雑賀君・広瀬君・前窪君  
事業所創立・・・宮本(保)君  
入会記念日・・・田中(章)君・林(芳)君・水城君

三木君・・・山中先生を偲んで・・・

先生の穏やかな笑顔が好きでした。

畠中君・・・山中さん ごめいふくお祈り申し上げます。

庵田君・・・2/2久しぶりにIDM参加できました。退院祝いし  
て頂きました。第4班の皆様ありがとうございました。

橋本忠美君・・・久しぶりにスピーチさせていただいて。

雑賀君・・・IDM4班、残金。

林(芳)君・・・コロナ太りました。

水城君・・・IDM2班。

越部君・・・IDM広瀬さんお世話になりました。

橋本忠通君・・・ワタガミ会員、ようこそ和歌山南ロータリー  
クラブへ。メイキャップありがとうございます。

中村君・・・IDMご利用ありがとうございました。

広瀬君・・・IDM第2班の皆様おつかれさまでした。

岩橋君・・・1/27 5班IDMありがとうございました。

計 ¥111,000 - 累計 ¥1,441,430 -

# 山中 静 会員を偲んで



本日の例会は、昨年2022年12月29日にご逝去されました山中 静会員を偲んで会員で献花を行い、山中会員との思い出を橋本忠美会員・畠中耕作会員・前田耕道会員・前窪貫志会員にお話をして頂きました。

## 橋本忠美会員

山中先生は当クラブ初代の幹事を36歳の時にされ、若くして第6代の会長をされました。山中先生と言えば南ロータリー1の酒豪だったとの事。ゴルフ同好会は昔は和歌山ロータリーと大阪ゴルフを交互にやっていました。大阪ゴルフの7番ホールにいる山中先生に8番ホールから打ち込んで山中先生の額に当ててしまったことがあります。かなり流血されたのを覚えています。

山中先生は大変穏やかな性格の方で、そのおかげで当クラブは分裂することなく、争いもおきなかったと思っています。



## 前田耕道会員

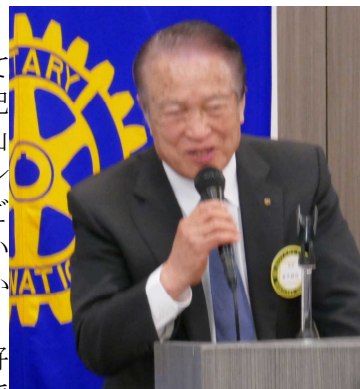
山中先生は大変な酒豪であったのですが、ある時私がコップ酒を勧めると「今日は休肝日だから飲まない」だと言って飲まなかった事もありました。また山中先生は大変な健脚で、京都から歩いて帰ってきたこともあるとか。

先生に聞くと毎日20000歩も歩いていたとの事。前窪ガバナリーの時に私は代表幹事をしていたのですが、私のミスで監査の印鑑を山中先生に貰い直さないといけない事があったのですが、先生は怒ることもなく印鑑を押し直してくれました。自分には厳しいが人には非常に寛大な方だと思っています。昭和15年に和歌山中学漕艇部遭難事故があったのですが、先生にその時の話をもっと聞きたかった。先生はまさに人生の達人だと思っています。



## 畠中耕作会員

私は南クラブに入会させていただいた時は20周年記念年度でございました。山中 静会員はチャーターメンバーで近寄り難い存在でございましたが、入会して若い私に大御所の山中先生から気軽に話しかけて頂き、特に宴席では日本酒を好み、私も日本酒でしたので同席が多くございました。先生から和歌山県柔道連盟の重鎮、藤村 茂先生(8段)が山中先生と和歌山中学の同窓生であることから、何時も柔道の(同窓会の話等)から接して頂き、若い私に気遣いしてくれたこと感謝しております。(話題内容については色々面白いこともございますが省略します)若い会員にはそっとした気遣いされていたこと報告いたします。



## 前窪貫志会員

私は山中先生より9年遅れて当クラブに入会しました。山中先生は88歳までゴルフをされました。ゴルフは追いつきましたがどうしても山中先生に勝てなかったのがお酒です。先生はお酒好きで行きつけのお店がたくさんあり、お酒1本とカラオケ1曲だけで次の店という感じで何軒もはしご酒をされていました。山中先生にロータリーの事について言われたことが一度もありません。自分の後姿を見てついてこいという意味だと理解し、ついていきました。自分もそうしていきたいと思っています。



## お礼の言葉 山中典子様より

本日は、父山中静の偲ぶ会を開催して頂き、皆様からの献花、感謝状、前窪様はじめ4人の方の思い出話など心から感謝申し上げます。



父は、この南ロータリークラブをこよなく愛し、最近では、一昨年のクリスマス会、昨年の秋のバーベキュー花火大会、松平健の和歌祭りなど参加させていただき非常に楽しんでいました。

皆勤賞を頂いたのも、島村様はじめ皆様のご協力のおかげと思っています。また大山様には父のマチュピチュ登山などの旅行話を、大変興味深く記念誌に載せて頂き、本人も大変喜んで親せきやOBの方に送っていました。

父が4年前に骨折して半年でやっと退院してからほとんどずっと毎日、夜の寝たく、洗濯、通院付き添い、買い物など身の回りの世話は、私がしていましたので、確かに夜中に何度も起こされたり、介護は大変でしたが昨年のワールドカップサッカーやソフトバンク応援など一緒に楽しんでおりました。さすがに夜中の2時からのスペイン戦は観ることができず、朝7時に勝ったと聞き二人で喜びました。その他父との楽しい思い出はいっぱいです。

父は穏やかでとても優しい性格で親しい人と会話したり、外食するのを大変楽しみにしていました。そのせいか回りの色んな人から愛されていた様で創立70周年祝賀会は、大勢の方が出席して下さり、皆さんが喜んで帰って下さいました。父は毎日、朝日、日経、わかやま新報を購読し、亡くなる前の入院中にも読んで、本当に最後まで頭は冴えていました。お正月のお年玉まで準備していました。

昨年12月4日の祝賀会には、多くの南ロータリーの会員の皆様に出席して頂き、多くのお祝いをも頂き、父は本当に感謝しておりました。その際には本人が主催者挨拶として、15分も話しましたので、私もそんなに話すとはつゆしらず、ただただ驚いていました。そのくらい元気でしたからその後しんどいと言って、心不全でまた入院しても本人もまだまだお正月には自宅に帰り、孫たちやみんなに会うのを楽しみにしていました。しかし心不全で三回目の入院だったせいか、血圧、脈拍、酸素が安定せず、だんだん飲み込みにくくなりました。それでも、個室では話もでき、好きなカステラやミカンなどを食べてくれました。一週間して院内感染でコロナにかかり、本人は症状がないものの、コロナ隔離病棟に移され、状態がわからぬまま亡くなる前の日、リモートで病室を見せてくれたのが、父の最後の姿でした。

その時は、私が元気でね、また来るからねと言って手を振ったら、父は笑っていました。

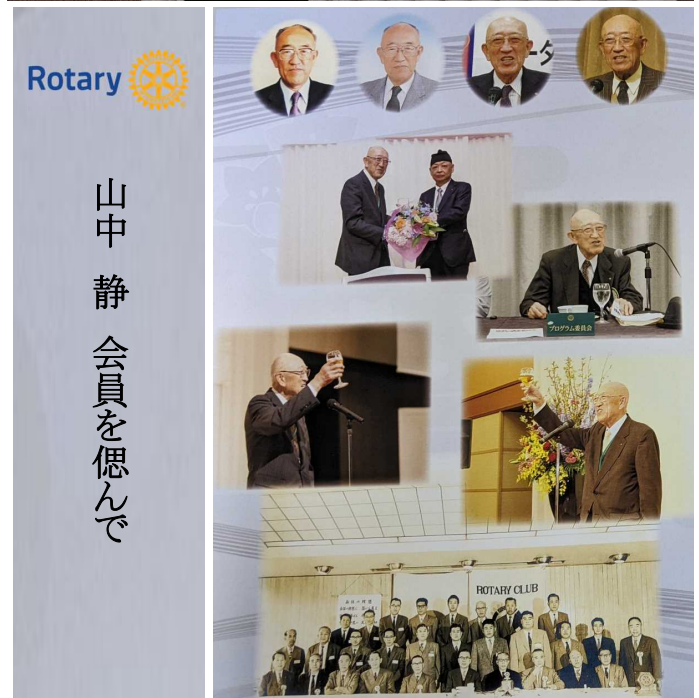
翌日朝9時前に、呼吸が止まりましたと連絡があり、本人が延命治療を希望しなかったのが本当にあつという間に旅立ちました。

まだまだ生きていたと思います、南ロータリーの皆様には、本当に長い間大変優しく、親しくして頂いたことには、心から十分感謝していると思います。

本当に今まで有難うございました。



山中 静会員のご令嬢  
山中典子様へ中村会長  
より感謝状をお渡し致し  
ました。



山中先生スライド



山中先生60周年  
動画

